



安全互助会だより

第13号（令和3年8月20日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
第二道通ビル
TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201
URL <http://www.h-anzen.com/>



ケガを防止する心の構え

理事長 新井田 寛

新型コロナウイルスへの対策が始まってから、すでに1年半が経過し、これまで数回にわたる感染拡大の波に見まわりましたが、できるだけ通常の学校生活や社会生活を過ごせるよう、様々な対応策が進められてきました。

一斉休校も回避され、今年度に入ってから外来者は制限されたものの学校祭が実施されたり、部活動も感染拡大防止に留意しながら実施されています。高校時代は長い人生の中のわずか三年とは言え、青春まったただ中の貴重な三年でもあります。ウイズコロナの状況は続きますが、厳しい中であっても皆で知恵を出し合って、将来、意義深い三年であったと思いつくことができるよう、皆さんの努力を期待します。

さて、コロナ禍でケガなどの事故の発生件数は減少したものの、部活動や体育の授業、スポーツ行事など運動中のケガが多い状態は変わりません。

事故報告書を読んでいると、ケガの発生もやむを得ないと思われる場面以上に、回避することが十分に可能だと思われるものも少なくありません。部活動を終え小走りに部室に向かうときや、休憩後に立ち上がる時に発生する肉離れ、駅や校内の階段の踏み外しでの骨折や捻挫などのように、身体の動きに意識を欠きがちな場面で発生しているケガが意外に多いのです。先日は地下鉄駅で「下りエスカレーター歩きスマホ」に遭遇しました。幸い前に人がいたので7歩程度で止まりましたが、自ら危険を招くような行為は論外です。

ここにきて、中学校の国語で学んだ徒然草の「高名の木登り」の逸話が思い出されます。人はもう大丈夫だ、注意することはなくなったと思ったときに心に隙ができ、かえって危ないことになるという教訓です。

最後に、今年度、本会の健康安全普及啓発活動では、これまでの学校で実施される講演等への助成に加え、コロナ禍における保健室の運営に役立てていただくようタオルケットの配布を行いました。詳細は関連記事のとおりですが、今後とも、皆さんの意見を伺いながら必要と思われる新規事業にも取り組んでいく所存です。

■ 令和3年度 定時評議員会

令和3年度定時評議員会は、当初、北海道高等学校PTA連合会総会・全道大会が開催される6月12日（土）に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全道大会が無参集映像配信型での開催となったことから、定時評議員会は5月22日に繰り上げ、リモート方式で開催しました。

新井田理事長の挨拶後、議長に吉光紀喜評議員、議事録署名人に梨木希望評議員、坂井秀昭評議員を選任した後、議事に入りました。議事概要は次のとおりです。

- ・第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算の承認
共済事業を中心とした事業報告では、新型コロナウイルス感染拡大による、学校の臨時休校や学校行事の中止や縮小などにより、発生件数で25%、給付額で40%の減少が報告されました。
- ・第2号議案 令和3年度事業計画及び収支予算の報告
2月20日（土）の令和2年度第4回理事会で決定された令和3年度の具体的な事業計画と収支予算について報告しました。
- ・第3号議案 評議員の選任
退任した評議員にかわり新たに補充する12名の評議員を選任しました。任期は令和4年度定時評議員会終了時までです。
- ・第4号議案 役員（理事・監事）の選任

退任した理事3名及び監事1名を補充する役員を選任しました。任期はいずれも令和4年度定時評議員会終了時までです。

■ 各校にタオルケットを配布しました

第1回理事会で、今年度の健康安全普及啓発事業の一環として、各校の保健室等で使用する物品の配布を実施することが決定しました。

北海道高等学校養護教諭研究会のご意見もいただき配布する物品を検討した結果、コロナ禍において、生徒の身体に直接触れるため、特段の衛生管理が求められることから、タオルケットを配布し、役立てていただくことにしました。



札幌南高校保健室

配布枚数は今年度加入生徒数に対応して2～4枚とし、7月中旬に配布を終え、各校で有効に活用されています。

■ 令和2年度共済金の給付状況

2年度はコロナ禍による臨時休校や、部活動の自粛などで給付件数、給付額とも減少しました。

共済金等給付総計	2,533件	34,095,500円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

○生徒への給付

死亡	0件	0円
障害	1件	450,000円

※ 幸いなことに令和2年度に学校管理下の死亡はありませんでした。

傷病	2,528件	33,305,500円
----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて月毎に給付しています。実際に発生した災害の件数は1,655件でした。発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,085件、授業中396件、通学中108件、休憩中66件です。

部活動中では、バスケットボール、野球、サッカーで578件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計でも、この3部が最も多くなっています。

部活動の次に多いのは授業中で、そのうち345件は体育の授業中で、球技が多いですが、跳び箱や冬季のスキー授業などでの発生も見られます。

通学中のうち78件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしている時のケガが多いですが、駅などでの階段の踏み外しによる転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	426件
捻挫	265件
脱臼	73件
打撲・挫傷	214件
創傷	69件
靭帯損傷・断裂	295件
半月板損傷・断裂	44件
腱損傷・断裂	13件
歯牙破折	12件
その他負傷	61件
疾病	183件

骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、捻挫が続きます。疾病では、運動に起因するものが152件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは92件と多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。上肢部は2割、頭頸部と体幹部は1.5割となっています。傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多くついで足首、足・指と続きます。靭帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	1件	40,000円
------	----	---------

※ 破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香料	3件	300,000円
----	----	----------

※ 学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

P 傷病	0件	0円
------	----	----

※ PTA活動中にPTA会員が被った災害への給付制度ですが、学校祭の中止などもあり2年度の発生はありませんでした。

■ 令和2年度末財務状況

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	58,989,108	50,834,707	8,154,401
現金預金(普通支払備金分)	656,800	546,800	110,000
現金預金(既発生未報告支払備金分)	15,298,691	25,160,994	△ 9,862,303
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	74,944,599	76,542,501	△ 1,597,902
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立金	50,127,345	20,127,345	30,000,000
責任準備金積立金	19,368,047	16,284,251	3,083,796
退職給付引当積立金	1,132,200	754,800	377,400
特定資産計	70,627,592	37,166,396	33,461,196
固定資産計	70,627,592	37,166,396	33,461,196
資産合計	145,572,191	113,708,897	31,863,294
II 負債の部			
1. 流動負債			
普通支払備金	656,800	546,800	110,000
既発生未報告支払備金	15,298,691	25,160,994	△ 9,862,303
未払金	0	0	0
預り金	109,575	148,595	△ 39,020
流動負債計	16,065,066	25,856,389	△ 9,791,323
2. 固定負債			
準備金	50,127,345	20,127,345	30,000,000
責任準備金	19,368,047	16,284,251	3,083,796
退職給付引当金	1,132,200	754,800	377,400
固定負債計	70,627,592	37,166,396	33,461,196
負債合計	86,692,658	63,022,785	23,669,873
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	58,879,533	50,686,112	8,193,421
負債及び正味財産合計	145,572,191	113,708,897	31,863,294

■ 令和3年度加入状況(7月末現在)

- 加入校 181校
- 生徒
 - ・全日制 57,840人
 - ・定時制 646人
 - ・専攻科 251人
 - 生徒計 58,737人
- 教職員 3,506人
- 子弟が在学していないPTA 60人
- 総計 62,306人

※ 閉校、学校統合、少子化などにより加入校で4校減少し、加入生徒数で2,200人減少しました。

※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約170,000人です。

■ 令和3年度業務計画

4月5日	公認会計士監査
4月10日	監事監査
5月6日	第1回理事会（書面）
5～6月	高P連支部総会における事業広報
5月22日	定時評議員会
6月28日	2年度事業報告書提出（道教委へ）
7月15日	全国高校安全互助会連絡協議会役員会
7月22日	第2回理事会
8月5日	役員変更届（道教委へ）
8月20日	互助会だより第13号発行
9月2日	道教育長・道教委関係部局との懇談会
10月7日	全国高校安全互助会連絡協議会総会
11月中旬	公認会計士監査 審査委員会
12月11日	第3回理事会
2月1日	「令和4年度共済事業の手引」発行 互助会だより第14号発行
2月17日	第4回理事会
3月中旬	4年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、各学校で行う健康や安全などに関する講演会等に助成する「健康安全普及啓発事業」が19校で実施されます。

■ 令和3年度助成金交付団体

生徒の校内外の生活における健康・安全・健全育成に取り組んでいる団体から助成金交付団体を決定しました。

- 北海道高等学校長協会生徒指導委員会
学校安全や生徒指導に関する調査研究や、いじめネットトラブル根絶メッセージコンクール及び交通安全標語・ポスターコンクールに対し助成します。
- 北海道高等学校養護教諭研究会
生徒の校内外の健康や安全について指導する養護教諭の専門的な知識や技術の向上を目的とした養護教諭研究会に対して助成します。
- 北海道高等学校体育連盟
道高体連が発行している、安全管理、事故発生時の対応、応急手当、ケガの予防等が掲載された「運動部活動顧問のためのハンドブック」の増刷に対して助成します。

■ 令和3年度収支予算

《収入の部》

（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
会費収入	85,418,500	88,668,000	△3,249,500
雑収入	275,000	275,000	0
準備金等戻入額	26,160,994	37,480,186	△11,319,192
収入合計	111,854,494	126,423,186	△14,568,692

《支出の部》

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
事業費	116,519,627	120,674,186	△4,154,559
共済給付事業費	57,200,000	59,400,000	△2,200,000
準備金等繰入額	32,528,744	37,462,237	△4,933,493
安全普及費	7,100,000	2,150,000	4,950,000
広報事業費	3,040,000	3,410,000	△370,000
助成事業費	1,500,000	1,200,000	300,000
調査研究費	1,440,000	1,463,000	△23,000
人件費	9,200,000	10,830,000	△1,630,000
需用費	3,700,000	3,959,000	△259,000
雑費	810,883	799,949	10,934
管理費	8,554,700	5,749,000	2,805,700
人件費	4,544,350	1,588,700	2,955,650
事務費	1,750,000	1,850,000	△100,000
需用費	2,140,000	2,300,000	△160,000
雑費	120,350	10,300	110,050
当期支出合計	125,074,327	126,423,186	△1,348,859
当期収支差額	△13,219,833	0	△13,219,833
前期繰越収支差額	44,870,859	11,457,414	33,413,445
次期繰越収支差額	31,651,026	11,457,414	20,193,612

事務局から

- 各学校で実施されている心身の健康やケガの未然防止などを目的とした講演等に助成する安全普及啓発事業は、今年度19校から応募がありました。

本事業の予算には現在のところ余裕がありますので、追加で応募したい学校がありましたら、事務局までご連絡ください。

- スポーツ振興センターでは今年度から「歯牙欠損見舞金」制度を導入しました。同センターではこれまでどおり歯牙に係る事故の医療費（本会でも傷病共済金を給付）については給付すること、また、本会には、すでに、保険診療外で歯科補綴を行った場合に適用される「歯牙欠損見舞金」の制度が設けられていることから、この度の「歯牙欠損見舞金」に対応した給付規程上の措置は実施しません。

- 共済金請求に必要な「第7号様式」が改正されました。ホームページからダウンロードして、新様式で請求してください。

保健室からこんにちは！！



「コロナ禍の保健室から」

北海道高等学校養護教諭研究会副会長
(札幌稲雲高等学校養護教諭)

堀川 智恵

「無人島に何か1つ持って行く(連れて行く)としたら、あなたは何を持っていくますか？」今年5月に本校1年生対象に実施した本互助会の健康安全普及啓発事業「こころの健康講演会」で、講師の本校スクールカウンセラーの先生からの心理テストです。この心理テストは、強いストレスを体験した時の対処法、生き延びるための自分自身の強みを知るための質問で、生徒達はとても楽しそうに考えていました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、あたり前の生活が突然失われ、制限のある学校生活が長期間続いています。毎日の検温と健康観察、手洗いの励行、マスクの常時着用、消毒、黙食、換気、座席と行動の把握、身体的距離の確保等の感染症予防対策は、すっかり学校での常識となりました。2009年の新型インフルエンザ流行時にはここまで浸透しなかったため、見方を変えるとコロナから、感染症予防の他、事故やケガの予防、ストレス対処、時間の使い方等、以前は後回しにされがちだった沢山のことを学んでいると感じています。

学校は本来とても「密」な場所です。密になって子ども同士や先生方、時には保護者等が、授業や部活、学校行事等を行います。そんな学校で「密になるな」というのは正直「無理！」なのですが、何とか知恵を出し、工夫し、優先順位をつけて教育活動を行っています。

自分自身や身近な人が感染したり、喪失体験がある人もいます。不安や恐怖、悲しみは計り知れません。そんな今、心のバランスを保つ方法を考えることはとても大切だと、2年前に同じ無人島の心理テストを聞いた時よりも強く思っています。

「ストレスの原因が変化であることを知ることができて良かった。」「ストレスにも自分を成長させてくれる良いストレスもあることが分かって面白かった。」前述の講演会後の生徒の感想です。もう少しこの状況は続きそうですが、コロナに大切なものまで奪われないよう「無人島に何を持って行こうか」と時々生徒と考えながら、日々を過ごすそうと思います。一日も早く、安全で健康な日々をとり戻せますように。

令和3年度 理事・監事・評議員

・理事

理事長	新井田寛	(道高P連顧問・札幌月寒)
常務理事	海東剛哲	(道高P連会長・留萌)
常務理事	高橋憲司	(道高P連副会長・苫小牧西)
常務理事	村井為敦	(道高P連副会長・旭川東)
常務理事	金井 禅	(道高P連副会長・札幌西陵)
常務理事	海老田憲人	(道高P連副会長・札幌新川)
理事	廣田定憲	(道高校長協会会長・札幌南)
理事	駒井博和	(道高体連会長・札幌白石)
理事	堀川智恵	(道高養研副会長・札幌稲雲)

※ 常務理事等の業務担当

・運営総括担当	新井田寛	理事長
・運営総括補佐担当	海東剛哲	常務理事
・コンプライアンス担当	村井為敦	常務理事
・リスク管理担当	高橋憲司	常務理事
・理事会等議事録担当	金井 禅	常務理事
・内部会計監査担当	海老田憲人	常務理事

・監事

奈良賢祐	(道高P連監事・釧路北陽)
五十嵐智美	(道高P連監事・恵庭南)
堀川貴庸	(道高P連監事・帯広南商業)

・評議員

瀬谷寛嗣	(道高P連石狩支部・札幌国際情報)
木下尚昭	(道高P連道南支部・市立函館)
彫谷泰嗣	(道高P連後志支部・小樽潮陵)
角野直行	(道高P連空知支部・深川西)
中野渡仁	(道高P連旭川支部・旭川農業)
大石昌明	(道高P連留萌支部・留萌)
中山 亮	(道高P連名寄支部・稚内大谷)
柳谷卓彦	(道高P連北見支部・北見柏陽)
梶本直哉	(道高P連十勝支部・帯広三条)
山崎正諭	(道高P連釧路支部・武修館)
清原孝志	(道高P連根室支部・中標津農業)
伊藤義幸	(道高P連胆振支部・室蘭工業)
遠藤 卓	(道高P連日高支部・静内)
田尻勝敏	(道高等学校長協会・札幌東)
伊勢一哉	(道高等学校教頭副校長会・札幌南)
岩間 淳	(道公立学校事務長会・石狩翔陽)

令和3年度 審査委員会委員

三戸和昭	(北海道医師会常任理事)
田西 亨	(北海道歯科医師会常務理事)
中川雅司	(道高校長協会生徒指導委員長)
井口圭記	(札幌琴似工業高校PTA会長)
畠山美鈴	(札幌英藍高校PTA会長)